

第13期（令和5年春）事業報告

（1）一人一花スプリングフェス2023

福博のまちをチューリップ等の春の花々で彩り、各会場を回遊させるとともに、メイン会場では「ピクニック」をテーマに春の花の賑わいを創出した

■令和5年4月8日（土）～4月16日（日）

■メイン会場 福岡市役所西側ふれあい広場
サブ会場 博多駅・東光のまちにわ（正興電機本社前）
博多区役所・清流公園・春吉橋・ホテルトラッド博多
警固公園・中央区役所・舞鶴公園
博多駅～天神にかけてのチューリップロード

■来場者数：20,172名



オープニングセレモニー

・花壇装飾（プロフェッショナル花壇／学生花壇／サブ会場花壇）

造園・園芸のプロフェッショナルによってメイン会場内に花壇を制作し、会場を華やかに装飾した。また、「共創の庭」としてプロと県内の農業高校や園芸部の生徒が共働で花壇を制作し、プロの技術を体感して、造園・園芸の業界の魅力に触れてもらう機会を創出した。



プロフェッショナル花壇(一例)



共創の庭



サブ会場花壇（春吉橋）

・花壇コンテスト

メイン会場においてプロ・アマを問わない形式で参加者を募集し、花壇コンテストを実施した。審査員による審査に加え、Web投票で審査する「市民投票賞」を実施した。

■テーマ：「Welcome to 福岡」

■参加者：11団体

■表彰：最優秀賞1作品、優秀賞3作品、市民投票賞1作品



<最優秀賞><市民投票賞>
リバーラガーデン花の会

・[アプリ連携企画]スタンプラリー



一人一花メディアパートナーの「ふくおか散歩」アプリと連携し、スタンプラリーを実施した。サブ会場やチューリップロード沿い等をスタンプラリースポットとして設定し、福博のまちの回遊性の向上を図った。

■全11スポット達成者：418名

・[アプリ連携企画]Charichari



Charichariと連携し、イベント期間中、アプリ内のチューリップロード沿いの駐輪ポートを花で表示し、シェアサイクルを利用して街中を巡る楽しみを後押しした。

・[Fukuoka Green Next連携]



市内産の廃棄予定間伐材や杉皮をメインステージ及び中央休憩スペースの設営材料として活用し、間伐材を利用した「油山ウッドベンチ」を会場に設置した。

・花苗配布

スプリングフェスの思いをご自宅や職場へ持ち帰っていただき、一人一花運動を始めるきっかけとなることを目的に、スプリングフェスで利用した花苗を来場した市民へ配布した。

■配布人数：1,248名

■配布株数：約6,240ポット

（2）福博花しるベチューリップロード

博多駅～天神～舞鶴公園までを結ぶルート上に、約5万本のチューリップ等季節の花々を市民団体、近隣小学校児童、企業等との共働で植付けを行った

■令和5年11月中旬～4月中旬



清流公園



はかた駅前通り



小学生との植え付け

（3）連携イベント

・宿根草を活用したワークショップ及び交流会

中央区フラワーウィークと連携し、中央区役所にてスプリングフェス協力団体へチューリップ球根の配付を実施。さらに園芸技術の向上及び団体同士の交流や情報共有を目的とし、宿根草を活用したワークショップ及び交流会を開催。

■令和4年11月14日（月）～11月18日（金）

■会場：中央区役所



ワークショップ



交流会



・チューリップ植付及びハーブ苗植付体験ワークショップ

一人一花スプリングフェス開催に先立ち、福岡の地元企業「正興電機製作所」本社前に設けられた花時計にてチューリップ及びハーブ苗の植付体験を企業、地域、地元小学生等との共働で実施。

■令和5年3月7日（火）10:30～11:30

■会場：東光のまちにわ（正興電機製作所本社前）

■参加者：株式会社正興電機製作所、堅粕小学校、
まちにわプロジェクト福岡、NPO法人循環生活研究所、
福岡花いっぱいプロジェクト、ねづくプロジェクト



（4）広報

■SNS等での情報発信

花しるベHPの更新、一人一花運動SNSの更新、イベントチラシ等の制作、一人一花スプリングフェス回遊隊 等



HP



SNS



市政だより



スプリングフェスチラシ
（※別添資料として配付）



当日チラシ



一人一花スプリングフェス
回遊隊